

熊楠works

2023年4月1日

No.
61

題字は熊楠自筆

■発行／南方熊楠顕彰会

〒646-0035 和歌山県田辺市中屋敷町36番地 TEL0739-26-9909 FAX0739-26-9913
<https://www.minakata.org/> (E-mail) minakata@mb.aikis.or.jp

自筆資料に見る南方熊楠

32

「本草綱目抜記」〔自筆022〕と「十二支考 兎に関する民俗と伝説」

文／栃木県農業大学校教授 郷間秀夫

本稿は南方熊楠顕彰館所蔵の「本草綱目抜記」〔自筆022〕を紹介するものである（図1）。本資料は熊楠が少年時代に和歌山で抜記し

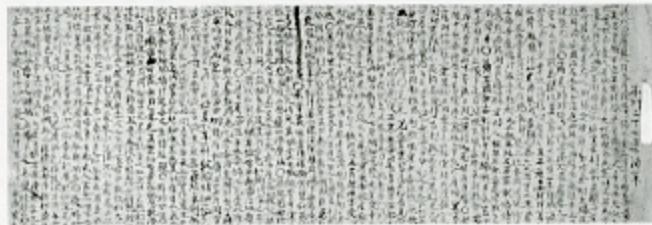


図1

たものとされ、12.5cm × 34.0cm の横書12丁の1冊である。このうち『本草綱目』の抜記部分は5丁半にわたっており、残りは『万国史略』の抜記である。抜記は『本草綱目』葉部二十七巻柔滑類、同二十八巻蘿菜類水菜類と芝柄類、三十九巻卵生蟲上、四十巻卵生蟲下、四十三巻龍蛇部、五十一巻獸之四獸鼠寓怪類の項である。

南方熊楠の学問に対する基本姿勢は読書と筆写にあったとされるが、熊楠は和歌山時代に多くの書籍を筆写している。今回、南方熊楠顕彰館の「第15回企画展 新春吉例「十二支考」輪読 兎に関する民俗と伝説」の展示担当を仰せつかり、南方熊楠顕彰館所蔵の資料を調査し、『本草綱目』に関して4編の自筆資料〔自筆021、022、024、025〕が所蔵されていることを確認した。また、熊楠は二つの和刻本『本草綱目』を藏したことを確認した。

〔中610.05〕明・李時珍、重訂 本草綱目 和刻本 松下見林訓、全40冊、1669年

〔南方熊楠記念館 記B2-001〕本草綱目 新校正 和刻本 稲若水校閲、全41冊、1714年

本書は李時珍（1518-1593年）がおよそ27年の歳月をかけ、800種以上の文献を参考にして編纂し1596年に上梓された52巻に及ぶ中国最大の薬物書である。時珍は薬物ごとに仮名（名称の考証）、集解（产地の注解）、修治（製造方法）、気味・主治・発明・処方（民間流布の処方など）等の項目をたてて、これらを解説している。本書は本邦へ輸入され、和刻本も出版され、医家が医療に、本草家が博物学の資料として利用した。

熊楠の友人である白井光太郎（1863-1932年）によれば、本書の和刻本は、寛永14年本、寛文9年本（重訂本、武林鉄衛本に松下見林が訓点を付した通称篆字本、南方熊楠顕彰館蔵書はこの刊本）、寛文12年本の3系統あるとしており（1930年）、後の研究によれば少なくとも本書には12種類の版本が確認されている。

この抜記には際立った特徴がある。それは熊楠が抜記した項目が各薬物の集解、修治、気味・主治・発明・処方であることだ。江戸期の本草家たちが本書の博物誌側面に注目したのに対して、当時の熊楠は原文にかなり忠実に抜記しているものの、それは本書の薬物としての利用法と効果の部分であり、博物学的な考証は

抜記していない。例えば熊楠は「兎」の項目について次のように抜記している（図2）。

本草綱目五十一卷 獣鼠寓怪類

○兎肉酸冷無毒腎中益氣止渴健脾涼血解熱毒利大腸●血鹹寒無毒涼血活血解胎中熱毒催生易産●脳塗凍瘡治耳聾●骨煮汁服治消渴霍亂吐利●肝明日補勞治丹石毒●明月砂則尿也治目中浮翳勞瘵五疳疳瘡痘瘡解毒

熊楠蔵書の『重訂本草綱目』から抜記箇所を示せば以下のとおりである（割注部分は省略した。下線は熊楠が抜記した箇所）。

肉【気味】辛平、無毒【訛曰】酸冷【主治】補中益氣、熱氣湿瘧、瘧止渴、健脾益食厭丹石毒血【気味】鹹寒無毒【主治】涼血活血解胎中熱毒、催生易産、脳主治【主治】塗凍瘡、催生滑胎同體治耳聾、涼血解熱利大腸、骨【主治】煮汁服止霍亂吐利、肝【主治】目暗、明日補勞治丹石毒、血鹹寒無毒（主治）涼血活血解胎中熱毒、尿【枳名】明月砂【主治】目中浮翳勞瘵五疳疳瘡痘瘡解毒

よって本資料の抜記箇所は今回企画展で取り上げられた「十二支考」の「兎に関する民俗と伝説」には少しあ引用されていない。

熊楠は幼年時に病弱であったと自ら語っているから、本書からその薬物的意義を汲み取ろうとしたと判断するのは早計であろうが、このことは今後検討する必要があろう。また熊楠は『本草綱目』について、1934年の雑誌『本草』第16号に論者「物産学、本草会、江戸」と『本草綱目』および本草学を執筆し、同書の日本渡来の時期について検証している。本論者は後の『本草綱目』書誌研究では幾度も引用され、斯学の重要な論者とされている。今後は『本草綱目抜記』に筆写した『本草綱目』の版本はどれであったのかを、その他の抜記等を参照した上で十分な検証を行いたい。

CONTENTS

第33回南方熊楠賞 受賞者決まる	…2
講演 南方熊楠が夢中になった圖鑑 松居竜五	…3
講演 少年熊楠が写した「有象列仙全伝」と動物図 三村宜敬	…6
講演 本草学から圖鑑・理科へ 佐品子	…10
講演 熊楠と圖鑑 岩崎仁	…13
クモの巣をヒントに描かれた宇宙の条理図 橋爪博幸	…17
『日本医事新報』への附録の回答「女子の陰門に蛇の侵入」 大和茂之、志村真幸	…23
法輪寺の大藏經調査報告 小峯和明	…24
熊楠とフランクスの出会いの場面を「食」の観点から紐解く 妹島治彦	…29
連続講座「南方熊楠と生物の世界」「南方マンダラ」の世界観に感銘を受けて 渡辺洋子	…36
ジャパンサーチを活用した「南方熊楠」学習活動について 田村義也	…37
海外に於ける日本語新聞で報じられた南方熊楠 杉山和也	…38
「第45回南方を訪ねてin那智山・妙法山」 長瀬桂春	…40
資料紹介 郷間秀夫	…42
書簡の杜（二十八） 岸本昌也	…50
「熊楠」生物覚え書 ⑨ 土永知子	…52
南方熊楠研究会 年次大会開催について	…53
書評・書籍紹介 ブラダン・ゴウランガ・チャラン 橋爪博幸	…54
[追悼] 渡岸宏一先生 玉井洋司 松居竜五 曾我部大剛 土永知子	…57